

ジャンプ式折りたたみ傘の扱いに注意



ジャンプ式（自動開閉式）折りたたみ傘でけがをしたという事故が起きています。取り扱いを間違えると大けがになることもあるので注意が必要です。

事故の例

- ① ジャンプ式折りたたみ傘をたたむときに、柄の部分（以下“手元”という）を押し込んだ。完全に押し込めず、手を放した途端に“手元”が飛び出して目に当たった。眼球を損傷して視力が低下した。
- ② ジャンプ式折りたたみ傘を閉じて、中棒を押し込んだら跳ね返ってきた。“手元”が口に当たり前歯が折れた。

特徴

ジャンプ式折りたたみ傘は、強力なバネが内蔵されており、ボタンを押すとバネが伸びて傘が開く仕組みです。小さく収納するときは手の力で押し縮めます。途中で手を放すとバネの力で勢いよく“手元”が飛び出すためケガの原因になります。

スーパーやコンビニなどで手軽に購入でき、傘の開閉が“手元”のボタン一つのできるのも、手がふさがっていても便利な反面、力が弱い人には収納が難しいため取り扱いには注意が必要です。

収納するときの注意点

- ・ 傘を縦ではなく横向きにして中棒を縮める
- ・ カチッと音がするまで押し続ける
- ・ 飛び出し防止機能がついた商品を選ぶ
- ・ 取扱説明書をよく読む



ジャンプ式折りたたみ傘は縦ではなく横向きにして中棒を縮める！カチッと音がするまで押し続ける！など取り扱いに注意するワン！